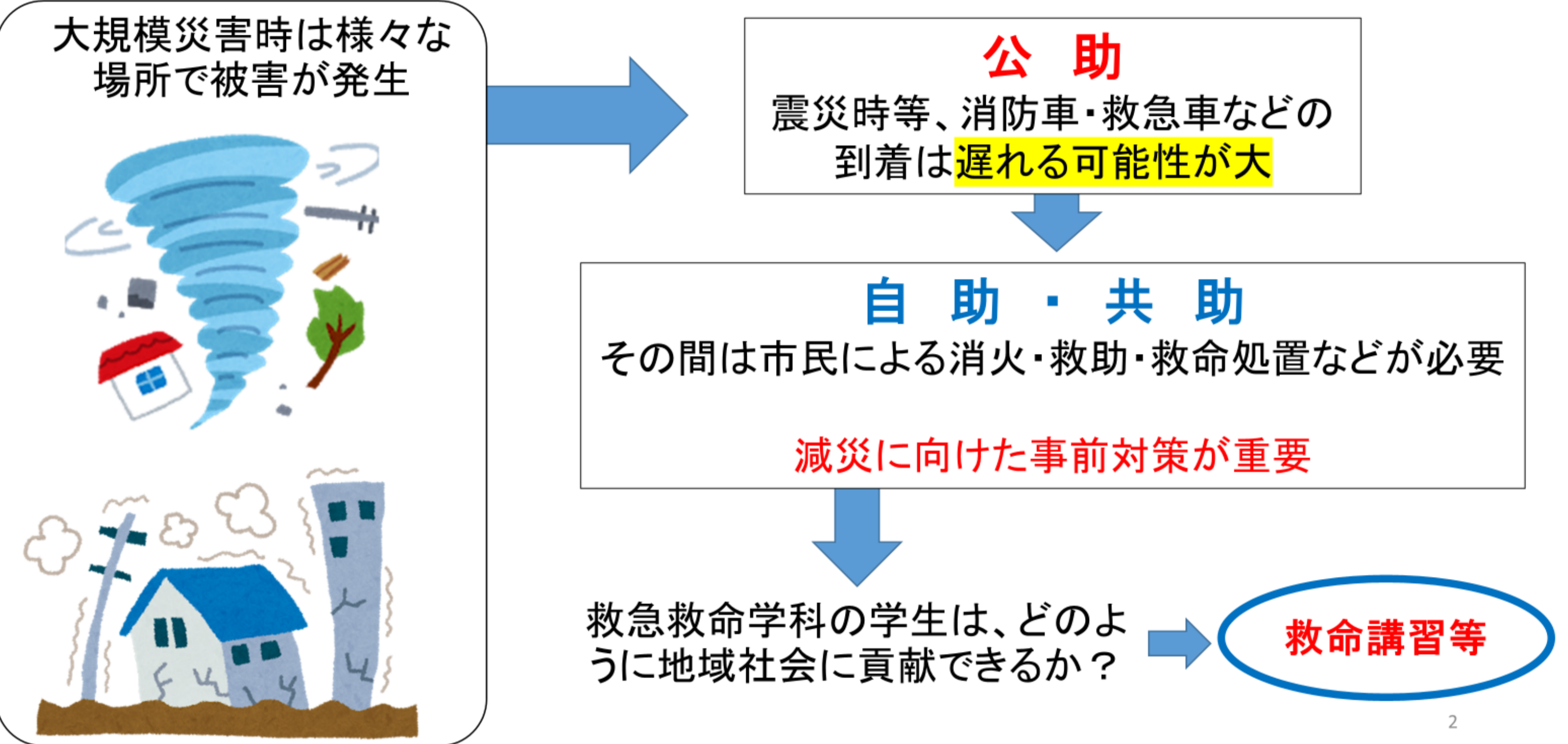


地域での多様な活動 ～救急救命学科学生の活動事例～

杏林大学保健学部救急救命学科：宮野 收 滝沢 文彦 久保利 勝治

自然災害が頻発・激甚化する日本における「災害に備えるまちづくり」



2023年度の活動

- 1 市民に対するBLS指導(三鷹市総合防災訓練)
- 2 「第32回三鷹市民駅伝大会」で救護ボランティア活動
- 3 中学生に対するBLS指導

1 市民に対するBLS指導(三鷹市総合防災訓練)

- ・ 実施日: 令和5年11月5日(日)
- ・ 参加者: 救急救命学科ボランティア学生4名、教員1名
- ・ 体験者: 市民約200名が応急救護体験
- ・ 内容: 学生による心肺蘇生法及びAED取扱いの指導
- ・ 市民から「親切な対応で、質問に分かり易く応えてくれた。」といった声が聞かれた。



2 「三鷹市民駅伝大会」の救護ボランティア

- ・ 実施日: 令和6年2月18日(日)
- ・ 参加者: 救急救命学科ボランティア学生8名、教員5名
- ・ 走者等: 161チーム805名、総観客数は約1万4千人
- ・ 内容: 市内駅伝コース4カ所に設置された救護所で保健師と連携して負傷者対応
- ・ 転倒等によるケガ人が数名発生したが、いずれも軽症であり、無事終了した。



3 羽村市内の中学生に対するBLS指導

- ・ 実施日: 令和5年6月16日(金)
- ・ 参加者: 救急救命学科学生50名、教員9名
- ・ 対象者: 3中学校、中学2年生延べ472名
- ・ 内容: 教員による講義、学生による心肺蘇生法の展示・指導
- ・ アンケート結果: 体験した中学生の約94%が「人が倒れたとき、協力して応急手当ができる(「まあまあできる」含む。)」と回答した。



4 三鷹市内の中学生に対するBLS指導

- ・ 実施日: 令和6年2月5日・6日
- ・ 参加者: 救急救命学科学生12名、教員2名
- ・ 対象: 第6中学校、中学1年生150名
- ・ 内容: 三鷹消防署及び東京防災救急協会と連携し、普通救命講習の指導
- ・ 各中学校教員からも本学学生の懇切丁寧な指導に対し、好評を得ている。

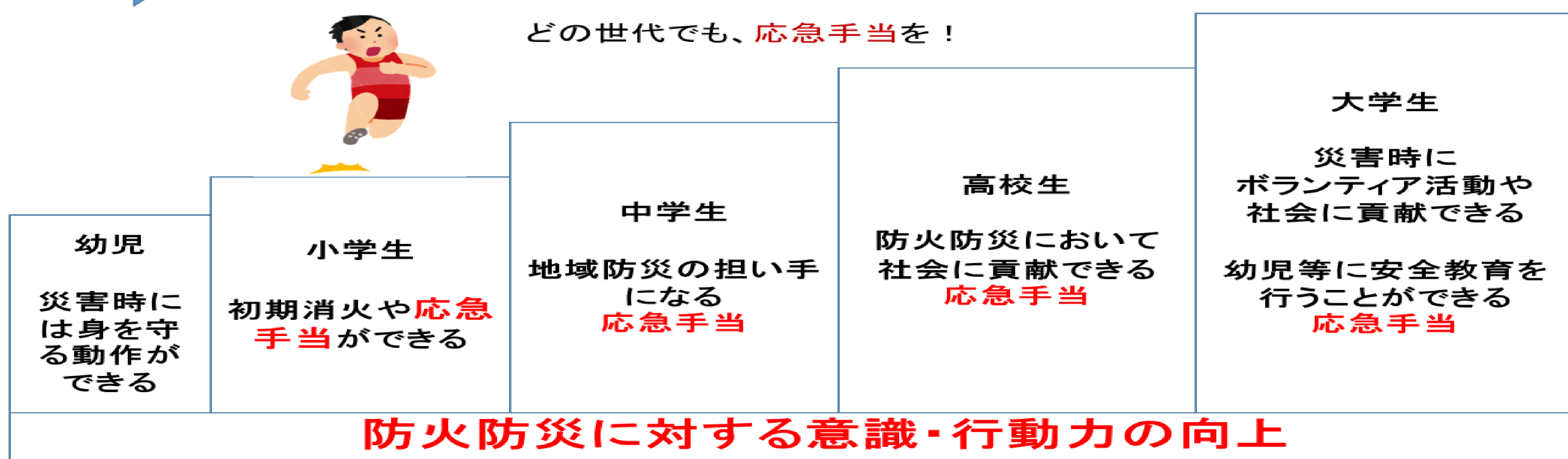


まとめ

「災害に備えるまちづくり」の為には各地域の防災意識・防災力の向上が必要不可欠

→ 防災意識・防災力の向上には**幼少期からの防災教育**も大切！！

どの世代でも、**応急手当**を！



市民一人ひとりの防災力の向上